集義の星（しゅうぎのほし）
～LOVE & JUSTICE～

本渡北小学校
学校通信
令和６年５月１４日
文責・木村純一
03

交通教室を実施しました
きまりをまもるくん！

４月２６日は交通教室を実施しました。自転車を提供いただいた保護者のみなさま、ありがもうございました。当日は交通安全協会からも来ていただき、交通安全に対する心構え、そして安全な自転車の乗り方、道路の歩行の仕方について学びました。

私は担任していた子どもが交通事故に遭ったことがあります。中央線もない自宅前の狭い道路を渡るわずか数メートルのところを夕暮れの視界が狭い中スピードを出して走行してきた軽自動車の下敷きになりました。エンジン部分の下敷きになりましたが、ランドセルが体を守ってくれました。ランドセルはもちろん焼け、背中の一部にも火傷を負いましたがそれでもそれだけで済んだことに胸をなで下ろしました。

ホームページに書いたことがありますが、私は、毎朝、正門前で子どもたちを迎えますが、子どもたちが自分で信号を確認せずに、前の子にならって渡ってしまうことに注意を払っています。「信号を見て渡ろうね！」と大きな声で呼びかけていますが、子どもたちだけの日常生活は大丈夫だろうかと思います。

ご家庭でも繰り返し話をしていただければと思います。

3にんのまもるくん

地震津波避難訓練を実施しました
いのちをまもるくん！

５月２日は地震津波避難訓練を実施しました。地震により、津波が発生したという設定です。運動場に集合し、高台にある明徳寺まで避難します。子どもたちは整然と集合し、整然と避難しました。低学年は、高学年が手を引き避難しました。

私はその様子を見ながら、ある新聞記事を思い出していました。それはある小学校の図書館に保存してあった新聞記事です。廃棄すると言うことで私はその記事をもらうことにしました。それは１９７２年７月６日上天草大水害の記事でした。その中でとても印象的だったのは、「いよいよ学校自体が土砂災害の危険があると判断し、避難を始めた。高学年児童が低学年児童の手を引き、水に浸かりながら避難をした。全員が危険の回避ができる場所に到着したとき、子どもたちが避難した経路を土砂が襲った」という記事です。

また翌週の北っ子の集いで私自身の２００４年のスマトラ沖地震津波の経験を話しました。「助かると、助からないの違いは何だろう？」という話です。今何かあったらどうするかと考え、「注意力」を大切にしようという話でした。自分で命を守る意識をもつことが大切です。

←本渡北小HPトップページはコチラです！学校通信がカラーで閲覧できます！「R6きたちゅーぶ」で動画も閲覧できます！

いつ、どこへ、何時に帰る？
じかんをまもるくん！

３人目は「じかんをまもるくん」です。これから日も長くなり、学校が終わったあとに遊ぶ時間も長くなり、子どもたちにとってはうれしい季節かもしれません。いつ、どこへ行き、何時に帰る予定なのか、このことをちゃんと家の人に伝えることを当たり前にできたらいいなと思います。

いろいろなリスクを考えたときに、この習慣化はとても大切だと思います。ぜひご家庭で話題にしていただければと思います。先日「時計が読めること」について職員と話題になりました。数時間、算数の学習で扱いますが、とてもその時間だけではマスターできないという話です。そこで、時計を読むことの日常化の大切さの話になりました。

日常生活から時間を意識させた生活をさせることは、子どもたちが中学校へと進学したとき、そして社会人となったときに役に立ちます。

うちの子が中１になったとき、初めての休日部活動の日に寝坊しました。我が家は起床は自己責任でした。泣きながら準備をする息子を見ながら、私は心の中で「送っていってあげようかな」なんて考えていたとき、妻の鋭い一言が息子へ、いやむしろ私に飛んできました。

「自分の責任だからね！送ってあげないよ！走って行きなさい！」

それ以来、息子は自分で時間を意識して過ごすようになりました。もしもあのとき、私が送ってあげていたら今の息子の姿はなかったかもしれません。子育て武勇伝ではなく失敗談でした。

運動会カウントダウン

運動会練習が本格化します！各学年の練習に加えて、全校練習も始まります！子どもたちと先生たちのがんばりを楽しみにしていただければと思います。またそれに先駆けてＰＴＡ美化作業を実施していただき、環境も整っています。本当にありがとうございます。

無言掃除カウントダウン

運動会明けの５月２７日、本渡北小無言掃除Ｘデーです。これまでもがんばっていますが、この日をＸデーと定め、全校で取り組みます。環境委員会もコラボします。ホームページのトップ画面も「無言掃除Ｘデー」へとレイアウトを変更しています。